

# 6 地域の住民福祉活動計画 の見直しについて

地域名	: マキノ
計画名(愛称)	: めくもり福祉プラン
基本理念	: 「めくもりを感じ心もすみやかなまちマキノ」
推進組織	: マキノめくもり福祉ネットワーク
住民福祉活動計画に基づく取組み (平成27年度29年度途中の主な事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営委員会の開催(毎月1回)、セーフティネット連絡会の開催(2回)</li> <li>○地区ボランティアセンターの開設(毎月第2、第4水曜日)、出張ボランティアセンター開設(4回)、ボランティアサロンの開催(2回)</li> <li>○ボランティアこんだん会及びボランティアサロンの開催</li> <li>○ふじみ寮祭りへの参加、マキノ生涯学習フェスティバルへの参加、高島キャラバン隊との協働(1回)</li> </ul>
住民福祉活動計画の推進による成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦運営委員会及びセーフティネット連絡会の開催により、ネットワークが拡大しました。</li> <li>◦地区ボランティアセンター「めくもりひろば」の取組みにより、交流ツールの開発と他機関との連携が図れました。</li> <li>◦ボランティアサロンの開催により、参加者がボランティア活動の意義や必要性について共有し、交流を深めることができました。</li> <li>◦出張ボランティアセンターを開設し、施設レクリエーションや集落単位のサロン支援を行い、活動者との出会いの機会を増やすことができました。</li> <li>◦社会福祉法人や公民館行事に参加し、住民福祉協議会の取組みを周知しました。</li> </ul>
取組みの課題、新たな課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦地区ボランティアセンター「めくもりひろば」の取組みが、各区・自治会単位の福祉推進活動支援につながるようビジョンを持って取り組む必要があります。</li> <li>◦地域踏査及び区・自治会との共催事業の検討が必要です。</li> <li>◦地域課題調査と調査結果に基づく取組みの発案が必要です。</li> </ul>
新たに、または重点的に取り組むべきこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦出張ボランティアセンター活動を通じてサロン活動支援と共に担い手支援を行います。</li> <li>◦福祉学習プログラムの開発(「バリアフリー」「子どもと親」「防災」等)に着手します。</li> <li>◦ボランティア活動者の把握と出会いの場を創出します。</li> <li>◦マキノめくもり福祉ネットワーク関係者対象の研修会を実施します。</li> </ul>

地域名	: 今津
計画名（愛称）	: あいあいプラン
基本理念	: 「ゆたかな自然と人のぬくもり つながりの環がある安心なまち」
推進組織	: 今津ふくしの会

住民福祉活動計画に基づく取り組み （平成27年度29年度途中の主な事業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営委員会の開催、セーフティネット連絡会の開催</li> <li>○地区ボランティアセンターの開設（空き家活用による拠点）、出張ボランティアセンターの開設</li> <li>○びわこウォーキングの実施</li> </ul>
住民福祉活動計画の推進による成果	◦「今津地区ボランティアセンターより処」の開設で、地域の居場所ができました。
	◦「びわこウォーキング」の開催で、自然や文化にふれる機会づくりができました。
	◦市民活動フェスタ等に参加し、他団体との交流ができました。
	◦今津東小学校の学校支援ボランティアを立ち上げ、学校と連携した地域活動が生まれました。
取り組みの課題、新たな課題	◦朝食を食べられず学校に行く子どもやお弁当を作ってもらえない高校生がいるという、子どもたちへの支援の必要性が見えてきました。
	◦見守り活動等小地域活動に取り組んでいる区、自治会への今津ふくしの会のアプローチの仕方の検討が必要です。
新たに、または重点的に取り組むべきこと	◦空き家拠点を中心に活動の充実を図ります。 ①誰でもいいよ！みんなの食堂をオープン。独居、子ども等一緒にご飯を食べよう企画。
	②今津地区ボランティアセンターより処と他団体の連携（例：あすくる高島等）
	③今津地区ボランティアセンターより処での子どもを対象とした朝食、弁当づくり。

地域名	: 朽木
計画名(愛称)	: あいの郷プラン
基本理念	: 「おかげさん 達者できばる 朽木の和」
推進組織	: 朽木住民福祉協議会
住民福祉活動計画に基づく取り組み (平成27年度29年度途中の主な事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定例会の開催、セーフティネット連絡会の開催、住民福祉協議会広報委員会、「あいの郷通信の発行」</li> <li>○地区ボランティアセンターの開設、くつき運営委員会の開催</li> <li>○糸びす顔で笑翁会、「ゴールを考え、今を生きる」の開催、「サロン・見守り情報交換会」の実施</li> </ul>
住民福祉活動計画の推進による成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦朽木診療所までの通院支援として、「くつき外出サポート隊」を立ち上げることができました。</li> <li>◦医療と福祉と地域の連携を目指し、住民福祉活動フォーラム「ゴールを考え、今を生きる」を開催し、チーム朽木の和が広がりました。</li> <li>◦朽木全域の高齢者のつどい「糸びす顔で笑翁会」を実施し、たくさんの高齢者に笑顔を届けています。</li> <li>◦地区ボランティアセンター「寄り合い処くつき」を開設し、地域の居場所ができました。</li> <li>◦「サロン・見守り情報交換会」で情報共有することができました。</li> </ul>
取り組みの課題、新たな課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦集落が消滅するかもしれない、そんな不安が大きくなってきました。集落の閉じ方をどのように考えていくのか、残った人をどう支えるのか検討していく必要があります。</li> <li>◦ひきこもり状態となっている方への支援の必要性が見えてきました。</li> </ul>
新たに、または重点的に取り組むべきこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦空き家活用の拠点を中心に活動の充実を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①介護予防に関する取り組みを進めます。</li> <li>②誰でもいいよ！みんなの食堂をオープン。独居、子ども等一緒にご飯を食べよう企画を実施します。</li> </ul> </li> <li>◦防災についての取り組みを検討します。</li> </ul>

地域名	: 安曇川
計画名(愛称)	: ささえあい4Sプラン
基本理念	: 「安全で安心な安曇川のまちづくり」
推進組織	: 安曇川住民福祉ネットワーク
住民福祉活動計画に基づく取り組み (平成27年度29年度途中の主な事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地区ボランティアセンターの開所(毎週木曜日午前中)、安中カフェ・あんにんカフェ(安曇川中学校空き教室を利用したカフェ)の運営、なかよしカフェ・コミカフェひまわり・出前カフェの運営支援</li> <li>○わくわくサラダ(発達障がいをもつ親の会)運営支援、防災出前講座、ボランティアミーティング・介護を考えるミニフォーラムの開催、認知症啓発イベントの協力等</li> </ul>
住民福祉活動計画の推進による成果	◦わくわくサラダの運営支援により、同じ悩みを持つ母親同士の交流が生まれました。
	◦出前カフェの運営により、集落単位の見守りネットワークの取り組み支援ができました。
	◦ボランティアミーティングを開催し、ボランティア活動の推進を図りました。
	◦介護を考えるミニフォーラムを開催し、地域で生活する認知症の方とその介護者を支援する意識を醸成しました。
	◦様々な場所で気軽に集まれるワンコインカフェを運営し、誰もが相談できる居場所の拡大に努めました。
取り組みの課題、新たな課題	◦水害、地震等に備えた災害支援の取り組みにおいて、具体的に集落単位のつながりづくりを支援する必要があります。
	◦介護者を支える取り組みにおいて、特に老老介護や男性介護者の支援が必要になっています。
	◦地区ボランティアセンターが様々な相談を受け、ニーズ発見・支援調整拠点として機能することが必要です。
	◦養育環境が整わない子どもに対して、夜間の居場所・食事の提供などの支援が必要になっています。
	◦適切な情報発信を行い、住民福祉ネットワークの取り組みを広めていく必要があります。
	◦「子ども食堂」の取り組みを具体的に進めていきます。
新たに、または重点的に取り組むべきこと	◦自治会単位に災害支援の取り組みを提案していきます。
	◦広報紙の発行を行い、取り組みを広げます。
	◦地区ボランティアセンターの常設化に向けた検討を行ないます。

地域名 : 高島

計画名(愛称) : 共生の高島

基本理念 : 「地域の輪で 誰もがその人らしく 安心して暮らせる まちづくり」

推進組織 : 高島住民福祉ネットワーク

住民福祉活動計画に基づく取り組み (平成27年度29年度途中の主な事業)	○定例会の開催、セーフティネット連絡会の開催 ○配食活動 ○地区ボランティアセンターの開設、出張ボランティアセンターの開設 ○空き家活用による拠点の運営、防災啓発、民児協への協力
住民福祉活動計画の推進による成果	◦配食活動については安定した活動が出来ており、ケアマネや保健師、民生委員等との連携を持ちながら支援出来ています。 ◦生活支援では、「ちょっとお願いカード」を活用してニーズを拾い、困りごとの解決に努めています。 ◦空き家活用による活動拠点を開設し、固定した地区ボランティアセンターの運営が可能になりました。 ◦暮らしづらさを抱えた方の社会参加の場として安定した支援ができ、当事者が元気になってくれました。
取り組みの課題、新たな課題	◦配食活動に於いて、配達エリアが大きく広がったとは言えず、もっと広げていく必要があります。 ◦漸く活動拠点が出来ましたが、まだ開設回数が少ないです。 ◦高齢化により担い手不足がより顕著になってきました。 ◦生活支援を求めている方が増加していますが、サポート側が十分ではありません。 ◦子どもの貧困問題、若者等の引きこもりなど高齢者以外の生活課題が顕在化してきました。
新たに、または重点的に取り組むべきこと	◦空き家拠点を中心に活動の充実を図ります。 ①地区ボランティアセンターの開設頻度を上げ、常設型を目指し、誰でも寄れる場をつくります。 ②生活支援や、集いの場を担う人材の発掘や人づくりに努めコーディネートしていきます。 ◦配食活動の頻度と地域を広げていきます。

地域名	: 新旭
計画名（愛称）	: 新旭やすらぎプラン
基本理念	: 「みんなが福祉でつながる地域づくり」
推進組織	: 新旭住民福祉協議会

住民福祉活動計画に基づく取り組み （平成27年度29年度途中の主な事業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定例会の開催、セーフティネット連絡会の開催</li> <li>○地区ボランティアセンターの開設（毎月最終土曜日 10:00~12:00）</li> <li>○「新旭ふくしまつり」の開催、機関誌「たいよう」の発行</li> </ul>
住民福祉活動計画の推進による成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦つどいの場をつくる施策としてピザ焼用ドラム缶をメンバーで作成し、地域でのカフェ・サロンに出かける取り組みを始めました。</li> <li>◦ボランティアの集いを実施し、新旭地域を拠点に活動しているボランティアグループとつながりが持てました。</li> <li>◦地域のイベント（市民活動フェスタ・新旭夏祭り・元気な仲間夏祭り）に参加し、つながりづくりを進めました。</li> <li>◦災害時に備えた防災簡易トイレの開発を行い、イベントで紹介しました。</li> <li>◦子どもカフェを試行的に開催し、子どもに関する支援をスタートさせました。</li> </ul>
取り組みの課題、新たな課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦住民福祉協議会および地区ボランティアセンターの活動周知が十分ではありません。</li> <li>◦地区ボランティアセンターのニーズ発見・支援調整拠点としての活動展開の検討が必要です。</li> <li>◦住民福祉協議会メンバーの補強と役割分担を明確化した運営体制の強化が必要です。</li> </ul>
新たに、または重点的に取り組むべきこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦養育環境が整わない子どもに対しての取り組みを進めます。</li> <li>◦出張ボランティアセンターとしてドラム缶ピザづくりを通して地域訪問を行ないます。</li> <li>◦「子ども食堂」の取り組みを具体的に進めます。</li> <li>◦広報紙「たいよう」の発行を定期的に行い、取り組みを広げていきます。</li> <li>◦地区ボランティアセンターの機能強化を行ないます。</li> </ul>